

国際シンポジウム
—沖縄から洞爺湖へ—
「人間の安全保障」から見た三大感染症への新たなビジョン

プログラム

2008年5月23日-24日
東京 グランドプリンスホテル赤坂

2008年5月23日（金）

開会セッション

モデレーター：山本 正、世界基金支援日本委員会ディレクター；
（財）日本国際交流センター理事長

開会の辞

森 喜朗、元内閣総理大臣・世界基金支援日本委員会会長

挨拶

福田康夫、内閣総理大臣

基調講演

緒方貞子、独立行政法人 国際協力機構理事長

第1セッション：九州・沖縄サミットから8年の軌跡

モデレーター：ナフィス・サディク、国連事務総長アジア・エイズ問題特使、元国連人口基金事務局長

ミッシェル・カザツキン、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（世界基金）事務局長（スイス）

ピーター・ピオット、国連合同エイズ計画（UNAIDS）事務局長
ジョイ・プマピ、世界銀行人間開発ネットワーク担当副総裁

コメント：

フランソワーズ・ヌデイシミヤ、ブルンジ・エイズ評議会事務局長

ナフシア・ムボイ、インドネシア・エイズ委員会事務局長

第2セッション：効果的な三大感染症対策の次なるステップとは～洞爺湖ビジョンに向けて

モデレーター：クリストフ・ベン、世界基金渉外担当ディレクター

武見敬三、前参議院議員；ハーバード大学公衆衛生大学院
リサーチ・フェロー；（財）日本国際交流センターシニア・
フェロー

ロルフ・コルテ、ギーセン大学医学部教授、世界基金技術評価
委員会委員長（ドイツ）

コメント：

メイベル・ヴァン・オランジェ、オープン・ソサエティ・インス
ティテュート（OSI）国際アドボカシー・ディレクター（英国）

アルバロ・ベルメホ、国際HIV/エイズ連盟事務局長（英国）

宇野治外務大臣政務官主催 夕食会

2008年5月24日（土）

第3セッション：地域を超えた多様なアクター間協力の可能性

モデレーター：ナターシャ・ビリモリア、フレンズ・オブ・ザ・グロ
ーバル・ファイト（世界基金支援米国委員会）事務局長

エリザベス・マタカ、国連事務総長アフリカ・エイズ問題特
使；世界基金理事会副議長

ナフィス・サディク、国連事務総長アジア・エイズ問題特使、
元国連人口基金事務局長

ブライアン・ブリンク、アングロ・アメリカン社グループ・メ
ディカル・コンサルタント（南アフリカ）

総括セッション

モデレーター：山本 正

挨拶 森 喜朗

パネル：

クリストフ・ベン

河野雅治、外務審議官